

調布市児童館情報誌

ザ・じどうかん

発行：調布市子ども生活部児童青少年課

TEL：042-481-7534・7536（直通） / FAX：042-481-7535

メールアドレス：jdousei@w2.city.chofu.tokyo.jp



平成29年1月

第3号



Contents

P2～3 あけましておめでとうございます

日本のお正月、お正月あそび 『凧』(たこ)

P4～6 特集 地域とじどうかん

児童館の地域での活動の様子

中高生ボランティアほか

P7 子育てひろば、全児童館合同事業

ご利用ください！『助産師相談』と『わくわく講座』

ウルトラキャンプ、児童館まつりの報告

P8 トピック Topic

調布市第1号の児童館のこと

あけまして おめでとうございます！

あけましておめでとうございます。
お正月は楽しくすごせましたか？

家で、テレビやゲームばかりしていなかったかな？！
お正月は、昔からの伝統的な遊びや文化、色々な行事にたくさん
ふれあう絶好の機会です。ぜひいろいろな体験を試してみましょう。



あそび

●こままわし

「こま」はとでも歴史が古く、6世紀にはあったといわれています。以前紹介した講和の「かっはり」という独特の投げ方をする、ダイナミックな「けんかゴマ」です。



●百人一首（ひゃくにんいっしょ）

100人の歌人のすぐれた歌を集めた和歌集です。平安時代、藤原定家が選んだものは「小倉百人一首」といわれ、多くの人に知られています。百人一首の遊び方は古く、歌を知らなくても遊べる「お主めくり」は、明治時代の頃からはじまったようです。

お年玉

お年玉の「たま」は「たましい」という意味があるそうで、もともとは新年のお供え物の「おさがり」を「おとしま」だったそうです。



おせち

おせち料理は、新年に作られる料理のことをいいますが、もっとも大事なお正月の料理をさすようになりました。



ひとつひとつの料理は、それぞれに意味のある縁起の良い食べ物で、火をよく通したり干したりして日持ちするようにしています。お正月は火を使うのを避けることのほか、家事を楽にしようとするため、ともいわれています。

行事など

お正月ならではの行事は、じつに白々なものがあります。

初詣、門松、書き初め、鏡ひらき、七草がゆ、どんど焼き一などなど。

それぞれ地方によって由来も違います。調べてみると面白そうですね。



お正月あそび 凧あげ

～ 昔ながらの伝統的な「凧あげ」の凧の歴史と凧の作り方を紹介します ～

●日本の凧の歴史

中国で生まれた凧は、その後世界に広まっていき、日本では平安時代の書物に「凧あげ」で遊んでいた記録が残っています。

都で遊ばれていた「凧あげ」が、全国各地に流行し始めたのは、江戸時代になってからのことです。

凧には、一枚の紙にひらひらと尾がついているので、「イカ」とも呼ばれていました。



江戸角凧
(えどかくどり)
『ももたろう』
作：土岐新男



未来に向け、天空を自由に泳ぐ凧は、子どもから大人まで親しまれ、各地で凧あげ大会が盛んに行われるようになりました。今では、「凧あげ」ができる場所も減ってきましたが、お正月や端午の節句の行事として、“子どもの成長を願って”各地で凧あげ大会が行われています。

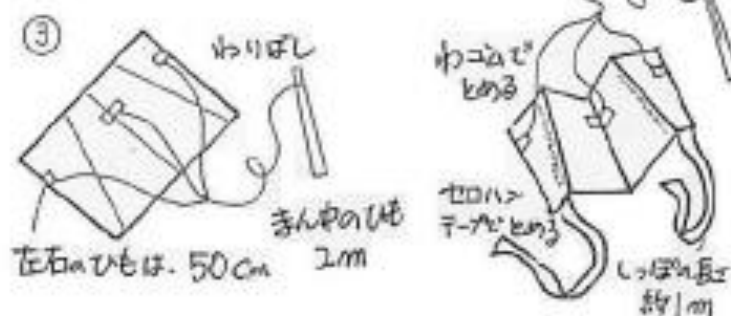
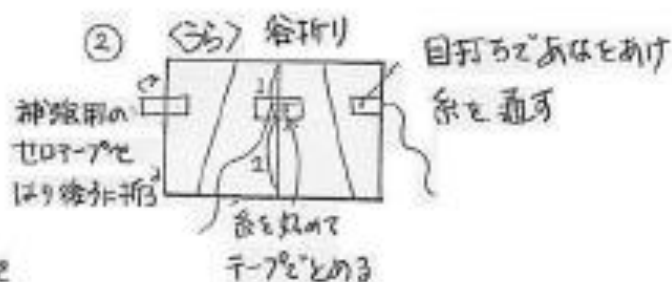
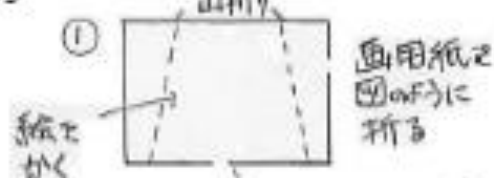
●簡単な凧の作り方

昔ながらの伝統的な「凧あげ」。簡単に作れてよくあがる「凧」の作り方を紹介します。

★用意する物

- ・薄手の画用紙
- ・クレヨンなど
- ・セロハンテープ
- ・糸
- ・わりばし
- ・わゴム
- ・自打ち
- ・紙テープ

★作り方



とくしゅう
特集

ちいき
地域と児童館
じどうかん



地域のおまつりに参加

地域の各団体の代表と会談
(児童館まつり実行委員会)

電気通信大学から講師を招いた「電通だ〜い遊館」



調布市吹奏楽団の吹奏楽の夕べ



しゅっしょう
出張児童館



地域のボランティアによる手芸の会



地域福祉センター利用者と暮のお茶会



地域のボランティアによる囲碁の会

地域の方々とともに



地域の小学校の夏休み体験教室に参加



地域の青年会と協力して「きもだめし」と「どんとやき」



翔サークル



地域の公園へ出張!



～児童館は地域ぐるみで子どもたちを育てています～
児童館は、地域の団体や個人の方と協力して、子どもたちの遊びや生活を支援しています。また、中高生の居場所づくりや、職場体験・ボランティアの受け入れを行うなど、異世代交流の機会を設けています。



特集

ちいさき じどうかん 地域と児童館

せいしょうねん 青少年ステーション CAPS



こどもあそび博覧会でのサンドフラスト体験実施

CAPSでは、調布よさこいをはじめ、さまざまな地域のイベントに利用者と一緒に参加しています。



「調布よさこい」に出演

中学生 ちゅうがくせい 職場体験 しょくばたいけん

はたらくことの喜びや大変さを体験することによって、将来の仕事に対する考え方を学ぶきっかけになっています。



地域奉仕体験活動をする都立高校生



子育てひろば事業で乳幼児とふれあう中学生

中高生 ちゅうこうせい ボランティア

中高生たちは小さな子どもたちとのふれあいを通じて、命の大切さを学んでいます。



児童館のキャンプでリーダーとして活躍する中学生





「乳幼児施設地域連絡会」

児童館を拠点として、周辺地域の乳幼児施設の職員が集まり情報を交換しています。

また、児童館の情報を発信していく場でもあります。

子育てひろば

～乳幼児とその保護者のための遊び場です～

今年度から、月1回『助産師相談』が始まりました。助産師と一緒に計測を行い、気軽に相談ができます。

「わくわく子育てひろば講座」では、歯科衛生士・保健師をお招きし、「すこやか☆0歳～広がる世界を楽しもう～」「すすめ☆1歳～どうする？1歳イヤイヤ期～」と月齢に応じたテーマで、乳幼児の発達や子育てに関する話を聴くことができます。子どもと向き合う楽しさや子育てのスキルを学ぶ場として、是非ご利用ください。

実施日については各児童館にお問い合わせください。

ぜんじどうかんごうどうじぎょう 全児童館合同事業

ウルトラキャンプ

8月16日～19日の3泊4日

姉妹都市 長野県木島平村で実施しました

今年度は台風接近のため、プログラムを大幅に変更して行いました。飯ごう炊飯、自然観察、工作体験などで楽しんだ4日間。初めて会った友達と一緒にご飯を食べたり、寝袋で寝たり、普段はなかなかできないことを経験したウルトラキャンプ。参加した57人全員が一段とたくましくなりました！！



すごく楽しかった！！
虫がたくさんいて、怖かった...



児童館まつり

9月～11月の日曜日

全児童館で乳幼児から大人まで1日中楽しみました

児童館まつりは、地域の健全育成団体をはじめとした実行委員会が中心となり、地域が一体となって各児童館でそれぞれ特色のある「まつり」を開催しました。



これからのよてい

- サッカー大会『J'Sカップ』(じゃいすかっぷ)
平成29年1月15日(日) 9:00～
味の素スタジアム
小学校の低・高学年、女子40チームが、それぞれ優勝を自指し熱戦を繰り広げます！
- 『児童館交歓フェア』(じどうかんこうかんひえあ)
平成29年1月29日(日) 12:45～
調布市グリーンホール2階大ホール
児童館とCAPSで活動している仲間が、ダンスや和太鼓・一輪車など、日頃の練習の成果を発表します！

トピック Topic

かいかんとうじ 開館当時のこと ~つつじヶ丘児童館~



開館当時の子ども達と舞台発表の様子

昭和40年5月、市内に第1号の児童館が開館しました。
 今から50年前のことです。当時、屋内型の遊戯施設は珍しく、都内で2番目、多摩地区では初めての児童館として注目を集めました。館内には、受話器を取って聞ける「耳で聞く図書館」や、フィルムを現像できる「暗室」があり、その他、合唱や少年自然探検隊などのサークルも活発で、市内の小中学生が電車に乗って集まるほどの人気でした。

その後、市内には次々と児童館が開館し、現在は11ヶ所の児童館と青少年ステーションCAPSがあります。



開館当時のつつじヶ丘児童館、当時の名称は「調布市児童会館」

ある日のじどうかん

Vol. 2

せいあん



編集後記

今回の編集にあたり、開館当時の懐かしい記事にふれる機会がありました。私自身子どもの頃、児童館のサークルに参加し、たくさんの仲間といろいろな経験をしました。そのことが今の仕事の原点になっています。

これからも調布の子どもたちに、児童館の行事や遊びを通して「生きていく力」を育て、見守っていきたいと思ひます。

登録番号(刊行物番号)

2016-160